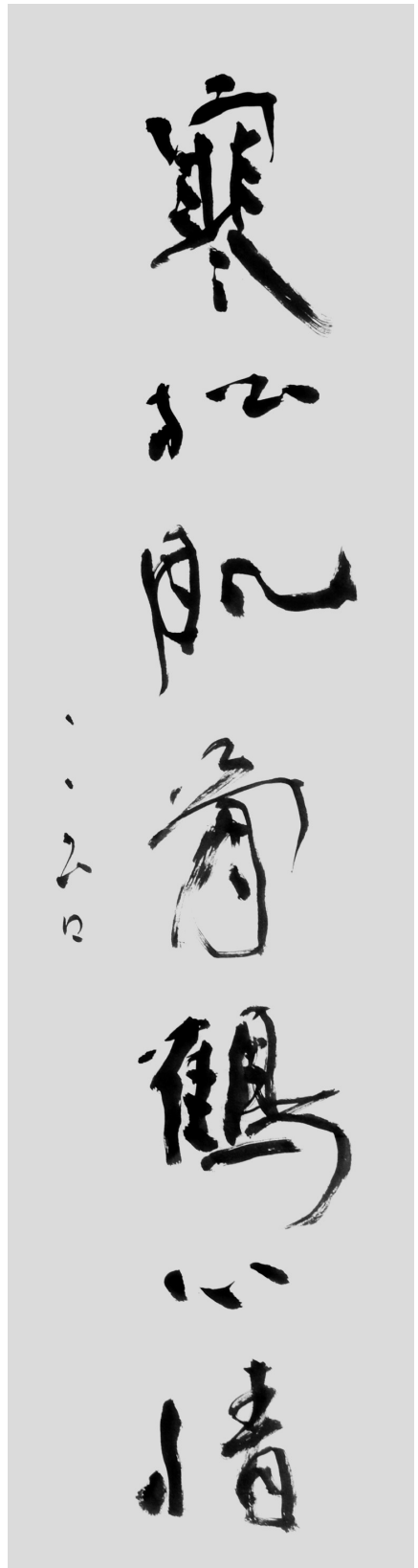


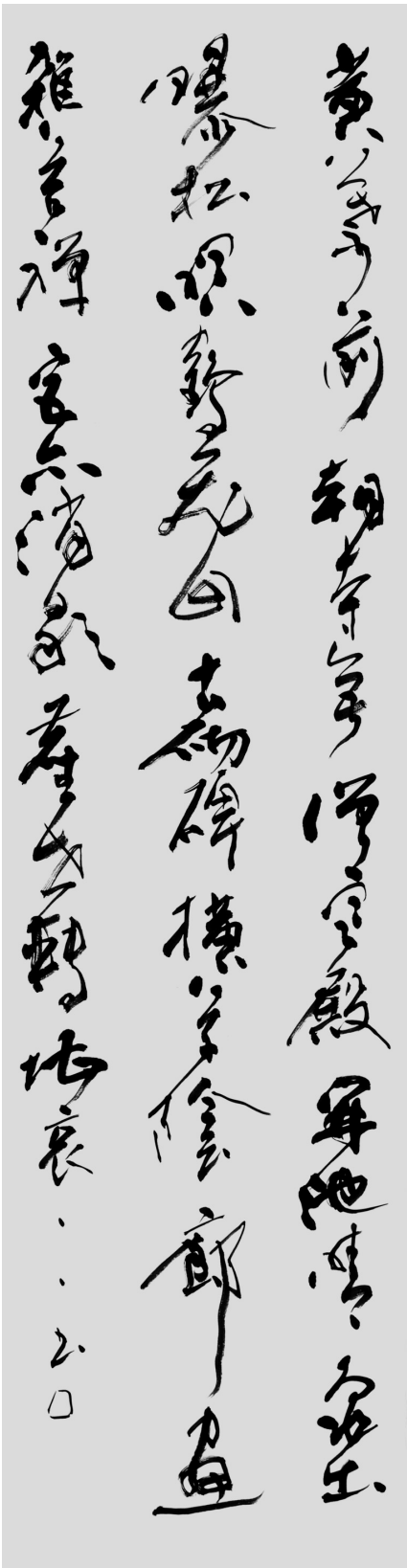
11月25日正午必着

明石春浦先生書



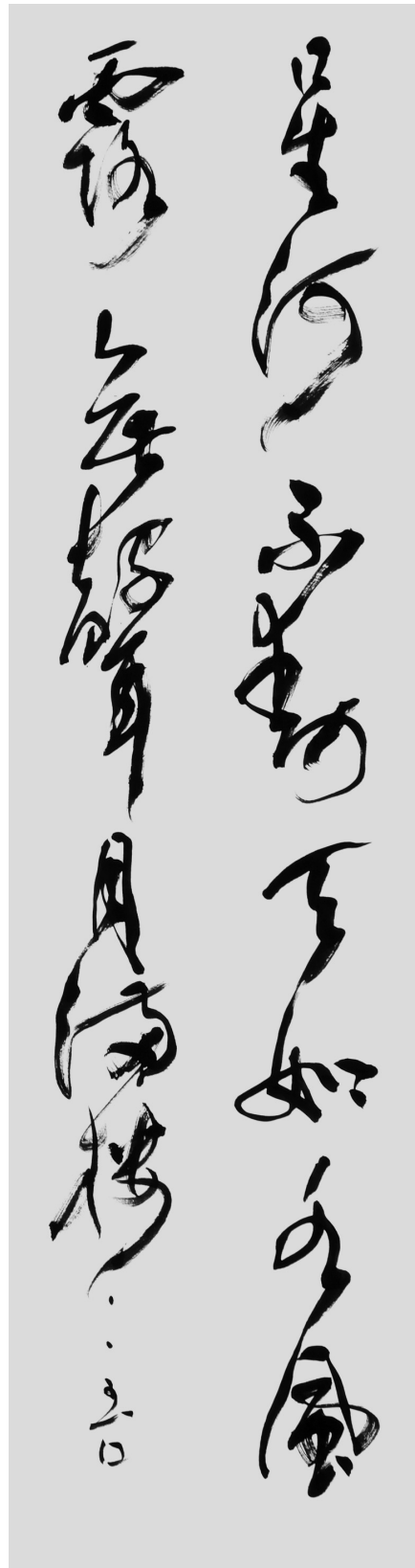
寒松肌骨鶴心情(李中) 松の節操と鶴の清らかさ。

明石幸子書



黄葉前朝寺 無僧寒殿開 池晴龜出曝 松暝鶴飛回
 古砌碑横草 陰廊畫雜苔 禪宮亦消歇 塵世轉堪哀
 (司空曙)

森戸春濤書



星河不動天如水、風露無聲月滿樓（陳安）

天空は水の如く澄んで天の川は動かず、そよ風は音もなく露おちて、月光は高樓に満ちている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

夢與白雲遊（孫逖）

夢に白雲と遊ぶ。

むかし莊子は夢に胡蝶に化し、楽しんで彼我の別を忘れたという（莊子）夢に白雲とあそぶ人も、胡蝶に化したのであるうか。

人生譬朝露、居世多屯蹇、憂艱常早至、歡會常苦晚（秦嘉）

人生は朝露に譬う、世に居りては屯蹇多し、憂艱は常に早く至り、歡會は常に苦だ晩し

人生は朝露のごとくはかなく、生きている時にはとかく悩みごとが多い。憂いや苦勞はいつも早くやってくるが、楽しいことというものはいつも実におそいのだ。

山中道士（賈島）

山中の道士 賈島

頭髮梳千下、休糧帶瘦容

頭髮梳ること千下、糧を休めて瘦容を帯ぶ

養雛成大鶴、種子作高松

雛を養いて大鶴と成し、子を種えて高松と作す

白石通宵煮、寒泉盡日春

白石通宵にして煮、寒泉 尽日 春く

不曾離隱處、那得世人逢

かつて隱処を離れず、那んぞ世人の逢うことを得ん

寒雷やびりびりと、眞夜の玻璃

（加藤 楸邨）

半紙部規定課題A

11月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

11月25日正午必着

行書

東西遠
索居

隸書

東西遠
索居

明石春浦先生書

草書

東西遠
索居

行草書

東西遠
索居

世の中はいつたいどうなっているのだろう 東西にはるか離れて過す私たち
いつもすぐにも会えるかと思いつながら かえってながく便りもないということになってしまふ
田の麦は深く茂って雉をかくし 淮河の苔むす岸辺、水浅くして魚が見えている
懐しく思慕しながら会うことができないままに あかさやかな月が幾たび満ち欠けたことか

寄友人一

張 蠟

世道復何如
東西遠索居
長疑即見面
翻致久無書
旬麥深藏雉
淮苔淺露魚
相思不我會
明月幾盈虛

友人に寄す

張 蠟

世道 復た何如
東西 遠く索居す
長に疑う 即ち面を見るかと
翻つて致す 久しく書無きを
旬麥 深く雉を蔵し
淮苔 浅く魚を露わす
相思えども 我と会せず
明月 幾たびか盈虚せし

(出典)

朝日新聞社刊
「三休詩」下より

南
劍
州
芋
陽

南劍州芋陽

南劍州芋陽鋪見臈
月桃花
可笑天桃耐雪風山家

三浦士岳先生臨書

清 劉墉・行書詩書四首

劉墉（一七一九〜一八〇四）山東省諸城の人。字は崇如、はじめ木庵と号し、のちに石庵と改めた。ほかに青原、香巖、日観峰道人などと号した。

代々貴族の家柄で、父の劉統勳は東閣大学士という官職にまなつた人で、劉墉はその長子として生まれた。父に劣らず徳望があり、累進して体仁閣大学士となり、のちに太子少保が加えられたという。

彼は経史百家に通じ、詩文にすぐれ、特に書をよくしたことで名高い。はじめ董其昌、趙子昂を学び、壮年になり蘇東坡、黄谷山を学び、その後、魏晋の古法におよんで、彼の書は確立されていたと言われる。やや円味をおびながら、一字一字に工夫を凝らし、淡々としているようで、大小肥瘦や結体の変化に気を配っている。明代の連綿草のような派手さとは対照的に想いを内へ籠めた朴訥とした重厚さと深い情味を感じさせる。漆のごとき濃墨を用い、濃墨宰相と称された。（春濤）

南劍州芋陽鋪、見臈月桃花

可笑天桃耐雪風 山家（牆外見疎紅）

南劍州芋陽鋪に臘月の桃花を見る
笑う可し 天桃の雪風に耐ゆるを
山家の…。

11月25日正午必着



望雲
〔旧唐書〕狄仁傑伝

旅先で子が親を思う心。

△做書参考作品▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



南劍州芋陽鋪、見朧月桃花、可笑天桃耐

11月25日正午必着

教育部毛筆



せいようぶんか
西洋文化

中学一年

雨宮春聲先生書



せんごくだいみょう
戦国大名

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



は 晴 ^{そら} れた 空

小学五年

榎戸春龍先生書



しょうねん こころざし
少年の志

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

11月25日正午必着



藤田幸春先生書

く つ おと 音

小学三年



細谷春誠先生書

し ま うま 馬

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ね こ 小学一年・幼年



森戸春濤書

山どり 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

地球の回てんには一定の法そくがある

小学五年

暗い夜道がこわくて必死に走って帰った

小学六年

カラマツの黄色い葉が落ちると冬を迎える

中学

今秋はかりん酒を作り香りを楽しんでいきます

一般(級位)

み吉野の山の秋風小夜ふけて故里さむく衣うつつなり
てあはれなむく衣うつつなり

み吉野の 山の秋風 小夜ふけて 故里さむく 衣うつつなり (藤原雅經)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ち	そ
よ	ら
う	を
の	と
む	ぶ
れ	
	白

幼年

こ	ひ
う	ろ
ま	い
が	の
は	は
し	ら
る	を

小学一年

ぶ	雪
つ	の
た	ぼ
	う
ふ	し
じ	を
山	か

小学二年

は	今
じ	か
ま	ら
り	十
ま	分
す	後
	に

小学三年

心	こ
の	の
あ	作
と	ひ
が	ん
見	に
え	は
る	苦

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

山
は
た
ら
し
き
な
り
ゆ
り

や
あ
し
な
り
ゆ
り

け
し
な
り
ゆ
り

う
ね
な
り
ゆ
り



山
佐
ざ
八
とは
不
ふ
曾
ゆ
曾
ざ
悲
さ
さ
沙
万
ま
利
さ
り
計
ける
人
免
め
も
草
毛
も
可
か
れ
ぬ
と
お
も
へ
ば
盤

(古今集 源宗于朝臣)

岩本景楓先生書